

## 平成31年度 地域貢献活動支援報告書(中間報告書)

地域イノベーション推進機構長 殿

所 属 教育学部東紀州サテライト東紀州教育学舎  
氏 名 大野 恵理

活動テーマ	東紀州における小学校外国語(英語)教育システム開発と支援活動
実施期間	平成31年 4月 18日 ~ 令和 2年 3月10日
活動内容	<p><b>(1) 具体的な活動実施内容</b></p> <p><b>①複式学級用年間指導計画の作成</b></p> <p>各小学校においては、令和2年度より新学習指導要領による学習指導が行われる。昨年度と今年度は新展開の経過措置の段階であり、文部科学省は段階的に新学習指導要領に近づける内容の授業展開を求めている。本年度も、文部科学省から示された令和元年度版の単式学級用の年間指導計画を基に、三重大学東紀州サテライト版複式学級用年間指導計画を作成した(第3~4学年、第5~6学年)。小学校において外国語活動が必修になったのは2011年で、複式学級での外国語の年間カリキュラム作成は研究の歴史が浅く、さらに文部科学省は未だその方針を示していないため、全国の複式学級の担任教員はカリキュラム作成に非常に困っているのが現状である。2017年度に東紀州地域の教育関係者からそうした現状を聞き、2018年度、2019年度に地域貢献活動の一環として複式版年間指導計画(カリキュラム)を作成して公開し、東紀州地域のすべての複式学級でサテライト版の年間指導計画が活用されるようになった(2018年度末のアンケート結果による)。</p> <p>複式学級用の外国語年間指導計画を公開しているのは、東紀州サテライトと、島根県教育委員会、高知県教育委員会の3団体のみで、大学として取り組んでいるのは東紀州サテライトのみである。</p> <p>小学校第5~6学年は2020年度から外国語が教科化され「教科書」が地域ごとに採用され、新しいカリキュラムを一から作成する必要がある。また第3~4学年も2020年度から年間授業数が15→50に増加するため、これも一からの作成に近く、複雑なカリキュラムの作成は専門家にしかできないため、2020年度以降も地域貢献活の一環として「年間指導計画」の作成を続けて地域への貢献を続けていきたい。</p> <p><b>②学習指導計画(指導案)</b></p> <p>東紀州サテライトでは年間指導計画の作成だけでなく、それに沿った各授業の学習指導計画(指導案)を、地域の要請を受けて今年度も行った。昨年度に作成した指導案を基に、出前授業実施後の反省や教員の意見を取り入れ全面的に内容を変更した(第3~4学年15時間分、第5~6学年50時間分)。1日で2時間分しか作成できないため、合計75時間の作成には38日以上を要した。この指導案は、複式学級だけでなく単式学級でも活用されている。</p> <p>また、各学級の担任教員がALT(外国人指導助手)と一緒にティームティーチングを効果的に行うことができるように、75時間分のすべての指導案は日本語と英語の2か国語併記をしている。2か国語表記の詳細の指導案を作成・公開しているのは東紀州サテライトのみで、東紀州地域で働くALTから「来年度も続けてほしい」という声が多くあがっている。年間指導計画や学習指導計画</p>

は、東紀州の小学校教員であれば誰でも見られるように、Web 上で限定公開している。

### ③教材動画の作成

東紀州サテライト版複式学級用年間指導計画では、第5～6学年の2年間の学習内容を1年間に圧縮するため、担任教員が効率よく指導できるようにオリジナルの教材動画を作成し、Web 上で限定公開している(3分程度の動画×20本)。

### ④ 出前授業・校内研修

昨年度同様、要請があれば小学校へ外国語および外国語活動の出前授業・校内教員研修を行った。また、市町教委等主催の合同研修会で講師を務めた。

## (2) 地域への貢献(地域の発展・活性化への寄与、広がり)

三重県下の公立小学校で複式学級をもつ学校は10.9%であるが、東紀州地域の割合は41.4%であり極めて高い比率となっている。地域の教育委員会および複式学級を抱える学校から、複式学級における小学校外国語および外国語活動の教育支援について引き続き強い要望があり、本年度もその期待に応える形で三重大学東紀州サテライト版複式学級用年間指導計画及び各授業の学習指導計画を作成した。年間指導計画については、東紀州地域のすべての複式学級で参考にされている(2018年度末のアンケートによる)。学習指導計画や教材動画についても複式学級だけでなく、単式学級でも多く活用されている。年間指導計画については三重県教育委員会にも紙ベースで渡している。

本年度は、鳥羽市立菅島小学校においても、東紀州版複式学級用年間指導計画による指導が行われている。また、2019年7月には小学校英語教育学会(JES)北海道大会で、東紀州教育学舎における小学校外国語・外国語活動の複式学級に対する支援活動を発表し、北海道知内町から複式学級指導について資料提供の要望があり、東紀州サテライト版複式学級用年間指導計画を提供した。

さらに東紀州サテライト版複式学級用年間指導計画の通りに指導をしている熊野市立新鹿小学校での外国語教育の取組みが2019年12月3日の朝日新聞の全国版で取り上げられ、群馬県の小学校からも問い合わせがあり複式版年間指導計画を提供した。2018年度に東紀州サテライト限定で公開していた東紀州サテライト版複式学級用年間指導計画であるが、2019年度は全国規模に活動が広がってきている。

## (3) 共同実施者との連携状況

共同実施者の5市町教育委員会には、月1回程度は訪問するなど連携を密にしている。本年度も、各教育委員会等主催の小学校外国語研修会・中学校英語教員研修会等に講師として招聘された。さらにALT研修会の講師として「英語」で5市町のALTに外国語学習理論等を講義した。この取組みは本年度の新たな取り組みであり、参加したALTからは「来年度も続けて欲しい」という強い要望がある。

## (4) 大学の教育・研究成果のかかわり

- ・教育学部2年生および教職大学院生での講義(対面による指導およびテレビ会議システムを活用)
- ・学会での東紀州版複式学級用年間指導計画の発表他

## (5) イベント等開催実績(名称、実施場所、参加人数等)

- ・三重大学東紀州サテライト版小学校外国語複式版年間指導計画の作成(第5～6学年対象)とWeb上での限定公開
- ・三重大学東紀州サテライト版小学校外国語活動複式版年間指導計画の作成(第3～4学年対象)とWeb上での限定公開

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作成した学習計画案(指導案)と Web 上での限定公開 : 5・6 年生 (50 時間分)、3・4 年生 (15 時間分)</li> <li>・出前授業 53 回 受講児童 408 人 (2020 月 3 月 31 日現在)</li> <li>・外国語関係研修会講師 16 回 受講人数 165 名 (2020 月 3 月 31 日現在)</li> <li>・作成した教材用動画 20 本</li> </ul> <p>(6) これまでの取組みによって得られた具体的な成果について</p> <p>上記に記述した通り、小学校複式学級における外国語活動および外国語の指導は 2011 年に始まったため研究の歴史が浅く、文部科学省も指針を示していないため、へき地の複式学級における外国語指導は混乱をきたしている。複式学級用年間指導計画の作成は非常に複雑で専門的知識が必要であるため、全国的にも非常に珍しい取り組みである。</p> <p>東紀州サテライトが支援を始めて 2 年でやっと軌道に乗り始めたが、来年度は第 5～6 学年の外国語が必修化され、地域ごとに教科書が採択される。教科書が変わると、年間指導計画や指導案も一から作り直しとなり、すべてが振り戻しである。今後もこの取組みを続けていくことを地域から要請されているので、来年度も地域貢献活動を続けていきたい。来年度は「複式学級用年間指導計画」を作成するために必要な教材 (76,000 円) を購入することが必要で、これを来年度の地域貢献活動から捻出したいと考えている。</p>
--	---

○本報告書は、活動実施期間終了後当該年度内に社会連携チームに提出してください。  
 ※Web 掲載が可能な活動内容の記録写真等があれば、適宜、本報告書に貼付して提出願います。

東紀州サテライト通信 20 号、24 号を添付します。それぞれの裏面に「地域貢献活動」で行った活動の概要と写真 (Web 掲載可) が記載されています。

爽やかな季節になりました。教育学舎は、東紀州及びその周辺地域の教育を様々な形でサポートしています。今号は、三重大学地域貢献活動支援事業、三重大学の南部地域教育実習事前指導、外国語活動・プログラミング教育支援等を紹介します。



## 三重大学地域貢献活動支援事業！・・・東紀州7市町と・・・

東紀州サテライト東紀州教育学舎は、地域貢献活動として、「東紀州地域における小学校外国語（英語）教育システム開発と支援活動」と、「論理的思考能力を育成するプログラミング学習の教材開発と東紀州地域での支援活動」のテーマによる2つのプロジェクトを2018年度より立ち上げています。

2019年度は、**小学校外国語**については昨年同様、**紀北町・尾鷲市・熊野市・御浜町・紀宝町の5市町教育委員会**と、**プログラミング**については**尾鷲市・熊野市・御浜町・紀宝町**と本年度新たに**大台町・大紀町・紀北町**を加え7市町の教育委員会と、確認書を取り交わしました。

本年度は昨年度より地域を広げて、東紀州地域7市町の教育委員会と協力し取り組み、各学校への出前授業や研修会等について、その活動を支援していきます。

1年間、よろしくお願いいたします。



## 南部地域教育実習事前指導を行いました！～三重大学教育学部～

三重県の南部地域の小学校（協力校）で教育実習を行う教育学部3年生を対象に、榎本（4月22日）萩野（5月15日）大野（5月22日）が、三重大学で事前指導を行いました。実習の意義と目的・心得や授業・指導案作り、校務・学校行事等に触れて講義しました。学生からは次のような感想がありました。



- ・教育環境や所得の低さなど、南部地域特有の課題については私も今までよく考えてきたことであり、自分がその土地で生きてきたからこそわかる問題に、しっかりと向き合いたいと感じた。後日友達とも深く話し合った。
- ・「心も導く先生になる」と、いうことは「教師はシャープペンシルでなく鉛筆」という言葉にもつながる。謙虚な気持ちで情熱をもって頑張りたい。
- ・子どもを理解する、子供の目線に立つなどはよく言われる言葉だが、本当の意味で理解できていなかった。
- ・今回、「教師は五者たれ」という言葉をいただきとても自分にすっと入ってきた。知識を持つことはもちろん子どもをひきつけられる環境を作り、将来の道筋を示すことができる人など自分に合った五者にならなければならないと感じた。

- ・教育実習に向けて、前向きな気持ちになれた。
- ・実際の現場の先生の指導の様子を動画で見ることができ、授業の進め方や子どもへのはたらきかけなど参考にしたいと思う点がたくさんあった。実習にあたって自分が子どもにどんなことを学び取って欲しいのか、明確にしたい。
- ・教壇に立つということは子どもたちに注目され手本になる存在であるため、責任が伴うことを改めて認識した。
- ・指導案の書き方や授業の方法など詳しく学ぶことができた。
- ・シンプルに焦点を絞って指導を考えることが必要であること、インプットよりアウトプットをさせると知識の定着が期待できるということが分かった。



南部地域の教育実習が、実り多いものになるように期待します。

## 9年間を見通した小中一貫英語教育支援！～尾鷲市輪内地区～



ジェスチャーで覚える会話表現の練習でノリノリ 5/20

本年度から2年間、小中9年間を見通した英語教育のカリキュラムを提案し、出前授業等を通じ尾鷲市輪内地区をサポートしていきます。

← 輪内中学校  
→ 賀田小学校



担任の先生もゲームに入り大喜び 5/9

## スクラッチでプログラミング教育支援！～大紀町・御浜町～

「難しいと思っていたけれど簡単だった。」「図形や模様を描くのが楽しかった。」などの声が聞かれました。



大紀小学校6年生と5年生 5/21 ↑



スクラッチで図形や音作り体験



御浜小学校5年生 5/22 ↑

## トピックス

- ・尾鷲市・御浜町・熊野市の各教育委員会を訪問し、教職大学院生教育実習の依頼を行いました。(2019年4月17日)
- ・尾鷲市立賀田小で外国語活動、尾鷲市立輪内中で英語活動の打ち合わせを行いました。(2019年4月18・22日)
- ・熊野市役所で、ALTとの打ち合わせを行いました。(2019年4月19日)
- ・紀宝町・御浜町・尾鷲市・紀北町・熊野市の各教育委員会、紀州教育支援事務所、くろしお学園、尾鷲高校を訪問し、通信の配付等を行いました。(2019年4月23・24日)
- ・紀南高校、木本高校を訪問し、教員免許状更新講習会場の視察等を行いました。(2019年4月23日)
- ・三重大学で、教育実習の事前指導を行いました。(2019年4月24日・5月15日・5月22日)
- ・御浜町教育委員会を訪問し、意見交換等を行いました。(2019年5月7日)
- ・御浜小学校・大紀小学校・三瀬谷小学校を訪問しIT環境調査を行いました。(2019年5月7・8日)
- ・木本高校を訪問し、ジュニアドクターの講座会場依頼を行いました。(2019年5月8日)
- ・尾鷲市立賀田小学校で、外国語の出前授業を行いました。(2019年5月9日)
- ・紀北町教育委員会を訪問し、教育長と懇談を行いました。(2019年5月17日)
- ・尾鷲市立輪内中学校で、英語の帯学習の指導を行いました。(2019年5月20日)
- ・大紀町立大紀小学校で、プログラミングの出前授業を行いました。(2019年5月21日)
- ・御浜町立御浜小学校で、プログラミングの出前授業を行いました。(2019年5月22日)



**三重大学**  
MIE UNIVERSITY  
東紀州サテライト  
**東紀州教育学舎**

〒519-4394 三重県熊野市木本町 1101-4  
三重県立木本高等学校 旧寄宿舎(南風寮)  
Tel: 0597-89-7015 Fax: 0597-89-7015  
E-mail: [edu-hksat@edu.mie-u.ac.jp](mailto:edu-hksat@edu.mie-u.ac.jp)



教育学舎の周りに、今年も  
たくさんの花が咲きました。

### <メンバー>

専任教員：大野 恵理  
特任教員：榎本 和能  
          萩野 真紀  
プロジェクト  
教員：須曾野仁志  
          磯野 巧  
          市川 俊輔  
事務補佐員：村井美恵子

\* プログラミング学習や小学校での外国語活動の出前授業などお気軽にご連絡・ご相談ください。

ようやく、秋の訪れを感じるこのごろです。

教育学舎は、東紀州及びその周辺地域の教育を様々な形でサポートしています。

今号は、木本高校文化祭への出展、東紀州サテライトフォーラム、ALT 研修会等について紹介します。



## 木本高校文化祭に出展しました！



9月7日(土)木本高校の文化祭で三重大学紹介ブースを開設して展示、放映を行いました。

三重大学紹介の映像と共に、木本高校と尾鷲高校の生徒が高大連携東紀州講座で作成したフォトムービーを流しました。

また、東紀州サテライトや東紀州教育学舎、三重大学の東紀州地域に関する支援活動、三重大学のイベント等の資料を掲示して紹介し、東紀州サテライトフォーラムの受付、三重大学の概要や各学部のパンフレットの配付を行いました。

三重大学への進学に興味をもってもらっている保護者の方や、三重大学に関心のある一般の方を中心に、合計47名の入場者がありました。

入場者(47名)の内訳は次の通りです。

教員 5名、一般・保護者 28名、  
高校生 3名、中学生 2名、小学生以下 9名



## 三重大学 東紀州サテライトフォーラム 対象：一般、教育関係者、中高生 「東紀州におけるデータサイエンス」 参加者募集のご案内

日時：2019年10月26日(土) 13:00~17:30 (情報交換会…16:00~)  
場所：熊野市文化交流センター (三重県熊野市井戸町 643-2)

ご参加ください 無料

内容：

- ・三重大学地域拠点サテライト構想説明
- ・ミニ講義

- (1) 世界有数の多雨の紀伊半島南部、さて、将来はどうなるか?
- (2) 山の資源の見える化  
—ICTを活用したスマート林業
- (3) 木材と私たちの暮らし
- (4) 数字と地図から読み解く東紀州地域  
—観光地としての魅力を探る—
- (5) 小学生向け英語発音訓練用  
タブレットアプリケーションの開発の紹介

- ・入試相談
  - ・ポスターセッション・情報交換会※
- ※情報交換会 16:00~は、参加費 2000 円軽食付き (中高生は無料)

申込：所属、名前、住所、電話番号、メールアドレス  
情報交換会の参加・不参加を下記連絡先まで  
三重大学 地域創生推進チーム 前田  
E-mail: regional-t@ab.mie-u.ac.jp

FAX: 059-231-5722

主催：三重大学東紀州サテライト  
後援：熊野市、熊野市教育委員会



三重大学 東紀州における データサイエンス  
2019年10月26日(土) 13:00~17:30 (情報交換会: 16:00~)  
熊野市文化交流センター 一般、教育関係者、中高生  
参加費 2000円 (軽食付き)  
16:00~17:30 式典・セッション  
17:30~18:00 懇話会  
18:00~18:30 懇話会  
18:30~19:00 懇話会  
19:00~19:30 懇話会  
19:30~20:00 懇話会  
1000円 参加費無料

## 東紀州地域 ALT の研修会の講師を務めました！

8月29日の午後、紀北町、尾鷲市、熊野市、御浜町、紀宝町の5市町に勤務するALTたちが集まって、紀北教育会館にて研修会があり、大野が講師を担当しました。研修では、「外国語習得の学習理論」や「新学習指導要領」を解説した後、すべてのALTが「最初の授業とする自己紹介」をデモンストレーションしました。ALTたちはパワーポイントを効果的に活用し、日本の子どもたちが興味・関心を持てるように工夫していました。さらに、「より魅力的な自己紹介」にするために積極的に意見交換をし、参加された指導主事の先生方からもアドバイスをもらいました。

さらに、数人のALTが「学習目標に適した活動」のデモンストレーションをし、大野が「ウェザーバスケット」(フルーツバスケットのお天気版)をALTに紹介しました。3時間という長丁場の"Only English"での研修でしたが、"Time flies ～あっという間～"に時間が過ぎました。参加した多くのALTや指導主事の先生方から、「もう一度、このような研修をしてもらいたい」という声がありました。



## 複式学級での出前授業を行いました！ ～熊野市立新鹿小学校～

9月10日、17日に新鹿小学校において、3～4年生の複式学級の「外国語活動」の出前授業を行いました。Let's Try!の内容に加えて、動画



を見て歌ったりゲームをし、「What's this?」という表現に慣れ親しみました。新鹿小学校で実践した授業の指導案やプリント等の教材は、ウェブサイトで公開(利用者登録要)されています。「使ってみたい!」とお考えの方は、三重大学東紀州サテライトにご連絡ください。

また、小学校「外国語」「外国語活動」、小中学校「プログラミング」の出前授業も行っております。お気軽にご連絡ください。

## トピックス・・・・・・・・・・・・・・・・

- ・熊野市文化交流センターで、熊野市中学校英語研修会の講師を務めました。(2019年8月20日)
- ・くろしお学園おわせ分校高校で、教員免許状更新講習の準備を行いました。(2019年8月20日)
- ・くろしお学園おわせ分校・木本高校で、教員免許状更新講習を実施しました。(2019年8月21・22日)
- ・東紀州教育学舎で、ジュニアドクター育成塾の講座が行われました。(2019年8月24日・9月14日)
- ・紀北町・尾鷲市・熊野市・御浜町・紀宝町の各教育委員会・尾鷲高校・くろしお学園・木本高校・紀南高校・紀州教育支援事務所を訪問し、通信の配付等を行いました(2019年8月26・27・28日)
- ・紀北教育会館で、東紀州地域ALT研修会の講師を務めました。(2019年8月29日)
- ・熊野市立飛鳥小学校で、共同研究の打ち合わせを行いました。(2019年9月2日)
- ・木本高校文化祭の三重大学ブースで準備、展示・フォトムービー上映を行いました。(2019年9月6・7日)
- ・尾鷲市教育委員会を訪問し、共同研究の打ち合わせを行いました。(2019年9月9日)
- ・熊野市立新鹿小学校を訪問し、英語の出前授業を行いました。(2019年9月10・17日)
- ・尾鷲市立輪内中学校を訪問し、共同研究の打ち合わせを行いました。(2019年9月18日)
- ・尾鷲市立賀田小学校を訪問し、外国語活動の研究授業・事後研修会に参加しました。(2019年9月18日)



東紀州サテライト

### 東紀州教育学舎

〒519-4394 三重県熊野市木本町 1101  
 三重県立木本高等学校 旧寄宿舎(南風寮)  
 Tel: 0597-89-7015 Fax: 0597-89-7015  
 E-mail: [edu-hksat@edu.mie-u.ac.jp](mailto:edu-hksat@edu.mie-u.ac.jp)



尾鷲市立  
 賀田小学校  
 研究授業



#### <メンバー>

専任教員：大野 恵理  
 特任教員：榎本 和能  
 萩野 真紀  
 プロジェクト  
 教員：須曾野仁志  
 磯野 巧  
 市川 俊輔  
 事務補佐員：村井美恵子

\* プログラミング学習や外国語活動の出前授業などお気軽にご連絡・ご相談ください。